

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ベリー		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内のベリーやライムとの併用児が多く、園や学校と支援が統一しやすい。担当や会議等スムーズに行える	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援ツールを作成し訪問先でも活用していただけるようにしている ・ベリーやライムでの様子や支援の方法などお伝えすることで、連携し支援ができるようにしている 	訪問先の先生から普段の様子や支援に対するの困りごと等丁寧聞き出し、支援のヒントや困っている本当の原因などを共有し、園や学校生活の中で安定して過ごせるように連携をとっていく
2	教職経験がある職員が訪問支援員として従事している為、学校関係者(管理職)の理解が得られやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議等に管理職に開催のお願い参加をすることで、現状を伝え理解を得られるようにしている ・担任や担当の先生への助言に加え、管理職への助言等も行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・園や学校によって担任の先生と話し合う時間あまりとれないこともあるので、時間の取り方の工夫をしていきたい ・特別支援教育に携わった経験豊富な人材を訪問支援員として採用をしていきたい
3	園や学校が保育所等訪問支援について理解が得られ、連携が取れている為、保護者からの依頼に応えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度には園や学校に挨拶に行き事業所の周知や取り組みについて、理解啓発を行う ・スムーズに進級や進学ができるように関係機関への情報の共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの園や学校生活の様子を伝え、心配事や要望などを聞き、学校との連携を取っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員ができる職員が少ないので、訪問先を増やせない	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員の要件に合う経験豊富な人材を確保できない 	今後も職員の募集等行っていく
2	ベリーやライムを併用していない児童等の利用も受け入れていく	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援について支援についての周知が広がっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援について説明を行い関係機関へ広めていく
3			